$\begin{array}{c} {\rm raipara\text{-}ri} \ {\rm ryky}({\rm RrR}) \\ {\rm _{da\ 1}\ "para\text{-}rei\ wie(PrW)"} \end{array}$ 

赤城 茜

2020年7月25日

## 目次

第Ⅰ部	はじめに	2
第Ⅱ部	言語システム	3
1	音韻・音声	3
1.1	母音	9
1.2	子音	9
1.3	子音そのものの発音	4
2	形態論	ĺ
2.1	Modifier • Supplier	Ę
2.2	動詞	6
2.3	名詞	6
2.4	形容詞	(
3	· 統語論	-
3.1	文全体の語順	7
3.2	Modifier・Supplier の語順	7

# 第1部 はじめに

そんなものはない

## 第Ⅱ部

# 言語システム

## 1 音韻・音声

## 1.1 母音

表 1 母音表

	前舌	後舌
狭	<b>i</b> [i]	$\mathbf{y}[\mathbf{u}]$
半狭	$\mathbf{e}[\mathbf{e}] \; \mathbf{e}\mathbf{e}[\mathbf{e}]$	$\mathbf{o}[\mathrm{o}] \; \mathbf{oo}[\mathrm{o:}]$
広	$\mathbf{a}[\mathbf{a}] \mathbf{a}\mathbf{a}[\mathbf{a}]$	

## 1.2 子音

表 2 子音表(-j 以外)

	両唇音	舌頂音	舌背音	声門音
破裂音	$\mathbf{p}[\mathrm{p}] \; \mathbf{v}[\mathrm{b}]$	$\mathbf{t}[t] \; \mathbf{d}[d]$	$\mathbf{k}[k] \mathbf{g}[g]$	
鼻音	$\mathbf{m}[\mathrm{m}]$	$\mathbf{n}[n]$		
ふるえ音		$\mathbf{r}[\mathrm{r}]$		
摩擦音		$\mathbf{s}[s] \ \mathbf{z}[z]$		$\mathbf{h}[\mathrm{h}]$
接近音	$\mathbf{w}[v]$		<b>j</b> [j]	

表 3 子音表 (-j)

$\mathbf{tj}[\widehat{\mathrm{tff}}]$	$\mathbf{zj}[\widehat{\mathrm{d}_3}]$	$\mathbf{rj}[\mathrm{r^{j}}]$	$\mathbf{sj}[\emptyset]$	$\mathbf{fj}[\varphi]$
$\mathbf{pj}[\mathrm{p}^j]$	$\mathbf{vj}[b^j]$	$\mathbf{kj}[k^j]$	$\mathbf{gj}[g^j]$	$\mathbf{hj}[\varsigma]$
$\mathbf{mj}[\mathrm{m}^{\mathrm{j}}]$	$\mathbf{nj}[\mathfrak{p}]$			

## 1.3 子音そのものの発音

例えば子音 K や子音 M そのものを発音する(英語で言う「エー、ビー、シー……」)ときは、

- 大文字の場合 -aa
- 小文字の場合は -ea

を子音につけて発音する。

## 2 形態論

### 2.1 Modifier • Supplier

#### 2.1.A Modifier

**Modifier** (略記:mod\*1) は動詞に法・相・態などを追加するものである。Modifier は 語の前につく (例. *njy*-kyvenai「知らない」)。

語	意味	用例	備考
dea-	~しなさい(強)	dea-zjavai!	上司が命令するイメージ
rea-	~しなさい (弱)	rea-panjai!	友人を誘うイメージ
fjoa-	~ならば	fjoa-dai-sy re,	
kyi-	~している	kyi-monai.	
ro-	過去、~	ro-oreai.	kyi- と併用で「~していた」
ho-	将来、~	ho-derai.	

表 4 主たる Modifier の表

#### 2.1.B Supplier

**Supplier** (略記: sup) は動詞・名詞に続く語の定義を表すものである。Supplier は語の後につく (例: rjai-sei re.)。

以下の表に出る X はそれぞれの Supplier が取る語を指す。

#### 2.1.C mod・sup の類

 $\mod \cdot \sup$  はそれぞれの関心に応じて表記が決定される。これを**類**といい、例えば hEI 類(対象を示す  $\sup$  の類)などという。

類に示される記号のうち小文字の  $r^{*2}$  と  $h^{*3}$  はそれぞれ任意の母音と子音を指し、大文字はその文字自体を指す。hEI の場合は rei, sei, dei などが当てはまることになる。

<sup>\*1</sup> sup を含めてすべて小文字で表記する

<sup>\*2</sup> **r**ehona 母音

<sup>\*3</sup> hohona 子音

表 5 主たる Supplier の表

語	意味	用例	備考
-sy	主語定義	monai-sy ry.	X がいわゆる主語となる
-sei	~を	hanai- $sei$ ro.	
-rei	$\sim$ 0)	verai-sei vera-rei hyraiza.	Χ は名詞句でも動詞句でもよい
-rae	~から	kewai-ray ahyra.	
-mae	~で	wawai- $zay$ iy.	X は場所
-tae	~~	zarai-tay anjea.	X は場所

#### 2.2 動詞

動詞は語幹に接尾辞 -ai がついた形で表される。動詞は mod と sup を持つ。

#### 2.2.A 動詞の態

動詞のうち能動態のときは無標である。受動態のときは  $\mod zemi$ - を動詞に付加する。 使役態のときは  $\mod nemi$ - を動詞に付加する。

- zemi-kyvenai-sy-nei minura-rei ry deria. (私の秘密が人々に知られる)
- nemi-kaahai-sy-sei re niha. (貴方は鳥を飛ばさせる)

#### 2.2.B 繋辞 hy-

#### 2.3 名詞

名詞は語幹に接尾辞 -a がついた形で表される。名詞は sup を持つ。代名詞・疑問詞もこれに従う。

#### 2.4 形容詞

形容詞は語幹に接尾辞 -e がついた形で表される。形容詞は適切な sup によって付加される。

## 3 統語論

### 3.1 文全体の語順

基本的な語順は VSO である。ただし Modifier -sy の場所によっては VOS になりうる。主語がない(-sy により付加されない)場合単純に VO のみとなる。

#### 3.1.A 動詞のみ (V)

- veriai.「起きる」
- zarai.「行く」
- ameriai. 「泣く」

#### 3.1.B 動詞と主語 (VS)

- derai-sy deria.「人は死ぬ」(-sy は主語を項に取る Supplier である)
- benerai-sy ry. 「私は悔やむ」
- akyai-sy re. 「貴方は捧げる」

### 3.1.C 動詞と主語と目的語 (VSO)

- 3.1.D 動詞と目的語 (VO)
- 3.2 Modifier Supplier の語順